

## 衣服設計用データベースの評価（第1報）：キーワードの検証

著者	田中 早苗, 赤見 仁
雑誌名	東京家政大学研究紀要 2 自然科学
巻	33
ページ	83-90
発行年	1993
出版者	東京家政大学
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1653/00010523/">http://id.nii.ac.jp/1653/00010523/</a>

# 衣服設計用データベースの評価 (第1報) キーワードの検証

田中 早苗<sup>\*</sup>, 赤見 仁<sup>\*\*</sup>  
(平成4年10月1日受理)

## Evaluation of a Database System for Clothing Design (Part I): Verification of Key Words

Sanae TANAKA\*, Hitoshi AKAMI\*\*  
(Received October 1, 1992)

### 1. 緒 言

筆者が作成した衣服設計用データベースは、辞書や雑誌に引用された衣服デザインを表すことばのうち出現頻度の多いものをキーワードとして構築された<sup>1)</sup>。このデータベースの運用目的は被服教育としての衣服製作やアパレルCAD実習に伴う型紙情報の検索なのでデータベースのユーザーはそれに携わる教師と学生である。

現在衣服を扱ったデータベースには、アパレル各社で在庫品の管理や営業予測に活用されているもの他にファッション写真画像データベースなどがあるが、これらのユーザーは服飾専門家か熟練のバイヤーなのでキーワードは服飾用語や業界用語で構成されている。

本研究では作成したデータベースの評価の一環としてユーザーによるキーワードの検証を行った。服飾専門家が記述した雑誌の衣服デザイン(ここではスカートに限定)を表現したことばと、学生が表現したことばを比較してキーワードの取捨選択を検討した。その結果、データベースのデータ項目は適切であること、キーワードの設定をより大分類にする項目と小分類にするべき項目があることが判った。また、キーワード数を最小限にするためにはキーワードとユーザーのことばを対応させる表を必要とすることが判った。

### 2. 方 法

#### 2. 1 調査方法

調査は被験者にいくつかのスカートを提示し、各々のデザインの特徴をことば(語句)で表現してもらうとい

う方法で行った。

提示したスカート資料は、作成したデータベースファイル‘SKIRT 3. DBF’(以降SKIRT3と記す)のデータ入力に用いた1896枚のデザインシートからSKIRT3で分類した11のスカート名称ごとに10枚ずつ無作為抽出し、11種類のスカートを1組として10組作成した。この110枚のデザインシートは全資料数の5.6%である。SKIRT3に入力された資料数の名称別内訳は次の通り。

1. サーキュラー	35	7. ティアード	108
2. タイト	334	8. タック	164
3. ギャザー	259	9. キュロット	89
4. フレア	268	10. ラップ	109
5. ジャンパー	353	11. セミタイト	34
6. プリーツ	143	合計	1896 (資料数)

デザインシートはいずれもモノクロームで、型紙製図と並べてA4版のケント紙に貼付したものである。11種類のスカートの提示順序は、始めに形の特徴が明らかであるサーキュラーを配置し、その他は類似したものが連続しないように配慮して先の内訳に示した1~11の順序とした。

被験者は本学の学生でデザインシート1組につき10名ずつ回答してもらい合計100名に調査を行った。

調査は1992年6月下旬から7月中旬にかけて行い、面接法で1シートごとに①スカートの名称と②デザインの特徴を表す語句3つか4つを回答させカセットテープレコーダーに録音した。質問内容は次の通りである。

「ここに11枚のデザイン画と製図があります。スカートにだけ着目して、まずスカート名を揚げて下さい。これは、いつも自分がそのスカートを何と呼んでいるか、自分だったら何と名称を付けるかを答えて下さい。わから

\* 服飾美術科被服構成学実験研究室

\*\* 服飾美術学科被服構成システム研究室

ないものは『わからない』と答えて結構です。

次にそのスカートがどんなデザインか3つか4つ説明して下さい。これは、例えば電話で友達に自分のスカートを詳しく教える時のように説明して下さい。

1枚が終わりましたら次のスカートに進んで下さい。」

①の質問は、SKIRT3の検索で第一のキーワードであるスカート名称を答えさせることによって名称の出現頻度数と既存の分類名称との一致性をみることをねらいとした。また②の質問では被験者がそのスカートを説明するとき自ずと着目する部分はそのスカートの特徴であると考え、質問では「……説明して下さい。」とした「特徴を答えて下さい。」では最も特徴的な部分を探さなくてはならないという心理が働き、被験者に煩雑さを招くものと考えた。

2. 2 集計方法

回答は録音を再生して転記し、データとした。データの集計はSKIRT3の作成におけることばの分類と集計の方法<sup>2)</sup>に準じて行い、頻度数の高い項目はさらに詳細な属性で分類してことばの頻度数を集計した。スカートの名称は、本調査では意図的に回答を求めたので分類項目別の出現頻度数には含めず、別個に出現頻度数を集計した。またSKIRT3の集計結果で頻度数の多かったDETAIL項目で上位に現れたボタン、ベルト、ポケット、の属性とDETAILが施された位置の集計結果で頻度数の多かったウエストはあらかじめ詳細な属性分類で集計した。

2. 3 キーワードの検討

調査結果はSKIRT3の作成で用いた雑誌の集計結果を照合した。属性や頻度数に相違が見られたものはユーザーの結果を基に属性を選択しキーワードを選択した。

3. 結果と考察

3. 1 スカートの出現頻度数

表1には、調査で出現したスカート名を頻度順に並べて、その対照として雑誌の集計結果を示した。

頻度数が上位にあるスカート名は双方の結果に共通していた。調査結果の上位9位までに属した名称は、SKIRT3のようにスカートを11分類した場合の9名称まで妥当であることを示した。しかし雑誌の名称出現頻度数は、SKIRT3に入力されている名称別スカート数にやや依存している(図1 雑誌のスカート数と名称出現頻度数)に対して、調査では各名称10スカートに限定した

表1 スカートの出現頻度数(頻度数2以上)

順位	<雑誌>	頻度数	順位	<調査>	頻度数
1	*JUMPER	299	1	FLARE	194
2	*FLARE	168	2	GATHER	164
3	*GATHER	110	3	TIGHT	158
4	*TIGHT	72	4	WRAP	106
5	*MINI	70	5	CULOTTE	85
6	*CULOTTE	56	6	JUMPER	84
#	*SLIM	56	7	PLEAT	59
7	*WRAP	53	8	SEMITIGHT	28
8	*PLEAT	45	9	CIRCULAR	22
9	*TUCK	44	#	LONG	22
10	*TIERED	31	10	ONEPIECE	18
11	*SEMIFLARE	18	11	SUSPENDER	16
12	*CIRCULAR	17	12	TIERED	8
13	LONG	16	#	TUCK	8
14	SUSPENDER	15	13	MINI	6
15	MINITIGHT	10	14	PANTS	5
#	*SEMITIGHT	10	15	FLAREGATHER	4
16	STRAIGHT	8	#	'MaEAKI'	4
17	GORED	6	#	FLAREPANTS	4
18	OVER	5	16	'GoMu'	3
19	KILT	4	#	BALLOON	3
20	BALLOON	3	17	FLARECULOTTE	2
#	PANEL	3	#	OVER	2
21	ACCORDIONPLEAT	2	#	TIGHTFLARE	2
#	BOXPLEAT	2	#	APRON	2
#	FLAREGATHER	2	#	BOX	2
#	FRILL	2			
#	HIGHWAIST	2		以下頻度数1のもの	34
#	IRREGULAR	2			
#	LONGFLARE	2			
#	MINIFLARE	2			
#	PLEATCULOTTE	2			
#	SALOPETTE	2			
#	TUCKGATHER	2			
#	TUNIC	2			
	以下頻度数1のもの	33			
合計	351種類	618		58種類	1046

\* データベースの大分類名に採用したスカート名

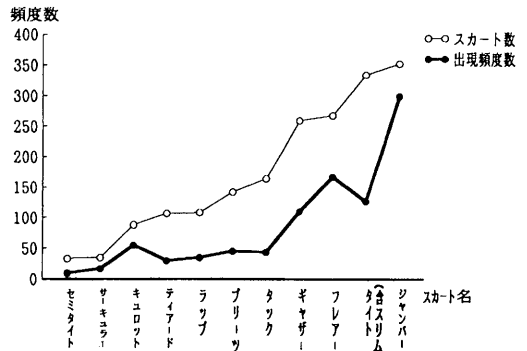


図1 雑誌のスカート数と名称出現頻度数

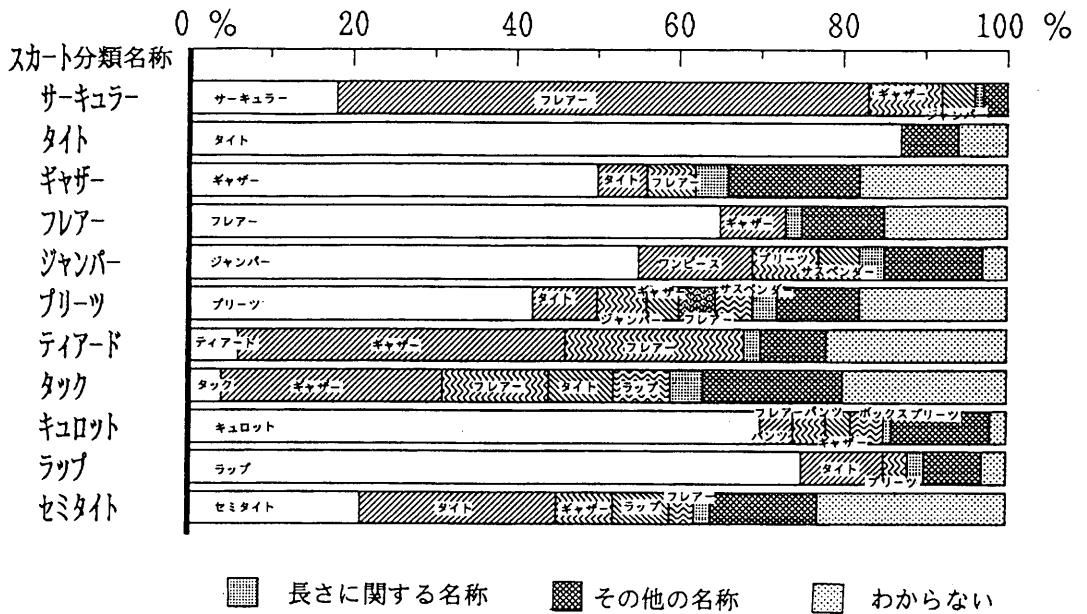


図2 各スカートで回答された名称の割合

上で頻度数に大差が見られた。

図2は回答に出現したスカート名をその分類名称内のパーセンテージで表したものである。図中の“長さに関する名称”はロングスカートやミニスカートを意味し、これらはいかなるスカートにも用いることが可能なので“その他”と区別したがミニタイトやロングフレアなどはそれぞれタイト、フレアに含めて集計した。これらの結果から、分類したスカート名自体の名称回答率の低いものについて次のように考察した。

- ①サーキュラーはフレアに含まれる。
- ②ティアードは各スカートに施されたことによってギャザーとフレアに分けられる。
- ③タックはギャザーにみなされることが多く、タックの名称が用いられることは極めて少ない。
- ④セミタイトはタイトとの区別が微妙である。
- ⑤プリーツは、ディテールのプリーツよりもシルエットや他のディテールに着目され、名称が分散しやすい。
- ⑥ギャザーは表1の頻度数から見るともっと高い回答率が得られるべきであるが、“その他”や“わからない”の回答が多かったのはデザイン画や提示順序などに問題があったと考えられる。

全体に名称割合にばらつきがあるものは「わからない」の回答も多かったが、これはあらかじめスカート名を提示して選択させることによって解決できるものと考えた。キュロットやラップの回答率が高かったのは今年の流行傾向にあったことによる。現在の女子学生を対象とするデータベースの第一の検索キーである名称は次のような大分類に改正し、この他は小分類にすることとした。

〈スカートの大分類名〉

- ①フレア ②ギャザー ③タイト ④ジャンパー
- ⑤プリーツ ⑥キュロット ⑦ラップ

### 3.2 分類別出現頻度数

本調査のことばの分類別出現頻度数（図3）では、D ETAILが群を抜いて多く、次いでLENGTH, IMAGE, SILHOUETTEの項目が多かった。これらの4項目は収集したことば全体の87.8%を占めており、SKIRT 3のデータ項目（フィールド）を設定する際に基本とした項目に一致した（図4 SKIRT 3のデータ構造）。しかし、本調査で頻度数の多かったLENGTHと雑誌で頻度数の多かったFABRICは頻度数が逆転しており、このふたつの項目はことばの収集母集団の違いが頻度数に顕著に現れたといえる。SKIRT 3ではこれらのデー

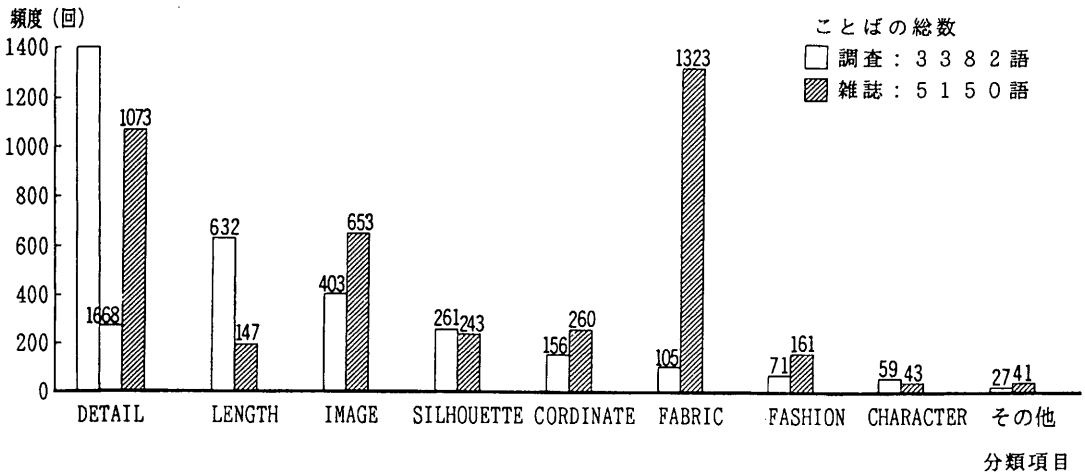


図3 衣服デザインを表すことばの分類出現頻度数

— 調査と雑誌10年間分の比較 —

データベースの構造	データ・レコードの数	最終更新日付	フィールド	型式	幅	小数
			1 NO	文字型	4	
			2 CORD	文字型	10	
			3 NAME1	文字型	11	
			4 NAME2	文字型	13	
			5 SILHOUETTE	文字型	9	
			6 FABRIC	文字型	30	
			7 WAIST	文字型	10	
			8 BELT	文字型	12	
			9 BUTTON	文字型	14	
			10 POCKET	文字型	17	
			11 BOTTOM	文字型	15	
			12 DETAIL1	文字型	18	
			13 DETAIL2	文字型	16	
			14 IMAGE	文字型	31	
			15 LENGTH	文字型	15	
〈 合計 〉					226	

図4 SKIRT3のデータ構造

タが資料から得られ易かった為、頻度数の低いLENGT Hもフィールドとして設けた。しかしキーワードはごく

単純なものにとどめた。頻度数の多い項目では当然細分化した属性が必要であり、また母集団の違いによって属性自体が異なることも予想された。次項より各分類項目の結果と考察を述べる。

### 3. 2. 1 DETAIL

DETAILに属した1668語句は48の属性に分類し、いくつかの属性に重複したものを含めて1719語となった。(表3 DETAILの属性別出現頻度数) 雑誌と調査に共通して出現した属性は31あり、特に頻度数が上位の属性はほとんど変わらず、10位中8属性が双方に出現した。その他共通しない属性が現れた理由には、

①調査に用いたスカートの中にそのディテールが含まれていなかった

②雑誌の属性は全て服飾用語(いずれかの服飾用語辞典には必ず掲載されているもの)であるが、調査では抽象的な表現も属性としたこと

③属性分類方法に問題があった。などが考えられた。

①は雑誌の頻度数の少ない属性に関して考えられることである。②の抽象的な表現とは「二段、三段、段々」「ひもをばってん、あみあみ」などを差し、これらはそれぞれ「切り替えや接ぎになっているもの」や「編み上げ、レーシングを表現したもの」と解釈できるが、抽象

表3 DETAILの属性別出現頻度数

〈雑誌〉	頻度数	〈調査〉	頻度数
1 ベルト	130	1 ボタン	203
2 プリーツ	128	2 ボケット	190
3 ボタン	119	3 ベルト	173
4 サスペンダー	106	4 プリーツ、ひだ	149
5 サスペンダー、ストラップ	93	5 ギャザー	117
6 ギャザー	74	6 吊り、サスペンダー、肩ひも	96
7 タック	73	7 ゴム	91
8 切り替え	58	8 フレア	75
9 ゴム	51	9 二段、三段、段々	63
10 明き	45	10 タック	57
11 明き	45	11 明き	52
12 リボン	43	12 切り替え	48
13 カット	36	13 接ぎ	35
14 フレア	36	14 スリット	33
15 ファスナー	34	15 ひも	31
16 スリット	33	16 リボン	30
17 袷、ツグ、バカ、ネツ	26	17 ファスナー	29
18 テフ、コード、トリミング、バッキング	25	18 ターツ、プリンセスライン	26
19 襟	24	19 ステッチ	21
20 ステッチ	24	20 二重、一枚重ね、重なり	20
21 ラップ	21	21 胸あて、背あて	17
22 まち	16	22 フリル	13
23 レース	14	23 レース	12
24 シャーリング	13	24 タブ、金具、飾りベルト	12
25 打ち合い	12	25 襟	12
26 フリル	12	26 V字	12
27 飾り布、コトワブリック、チュール	12	27 ラップ、巻き	10
28 胸あて、背あて	10	28 コック	9
29 ベンツ	9	29 刺繍、模様	8
30 フリンジ	9	30 ベンツ	8
31 刺繍、ワック、カトリック、ミラー	9	31 カット、切り込み	8
32 ダーツ	8	32 ひもをばつてん、あみあみ	7
33 クリス、ブラウジング	8	33 縫い止まり	6
34 パネル	7	34 四角い布、エプロンみたいな布	6
35 編み上げ、レーシング	7	35 ドレープ	5
36 ゆるみ	6	36 シャーリング	5
37 フラップ	5	37 ひらひら、フリフリ	5
38 バグチ	4	38 縫い目	5
39 鳩目穴	4	39 テープ、縁取り	4
40 ペブラム	4	40 袖	3
41 比翼仕立て	3	41 フリンジ	3
42 ラップル	3	42 見返し	3
43 一枚仕立て、一重仕立て	3	43 アクセント、ポイント	2
44 ワッペン	2	44 比翼仕立て	2
45 ループ止め	1	45 つなぎ	1
46 ストール	1	46 ペブラム	1
47 ビヤばら	1	47 腰まき	1
48 玉縁仕立て	1	48 ウエストボーチ	1
49 短冊	1		
合計	49属性 1422箇	48属性	1719箇

表4 ボタンに関することばの属性別頻度数

	〈調査〉	〈雑誌〉
1. 位置		
* 前、前明き、前中心	57	7
* 脇、両脇、横、脇明き	41	25
* 後、後明き、後中心、背	15	9
* 中央	14	5
* ウエスト	2	4
* サスペンダー	1	3
* ポケット	0	3
その他	12	15
2. 状態		
ボタン止め(留め)	22	21
* ボタン明き	6	19
* 上から下まで	12	1
* 並んだ、ダブルの	0	11
大きい、小さい	4	10
その他	6	7
3. 数量		
個数	15	2
たくさん、いくつか	3	0
4. 種類		
くすみボタン	0	11
ドットボタン	0	5
飾りボタン	5	3
金ボタン、メタルボタン	0	6
その他	1	6
5. その他		
頻度数合計	218	177
ボタンに関することば数**	203	119

\* 既にキーワードがあるもの

\*\* 属性が重複することばがあるため頻度数とことば数は一致しない

表5 ベルトに関することばの属性別頻度数

	〈調査〉	〈雑誌〉
1. * ベルト(有り)	60	15
2. 太さ		
太い、広幅	37	27
3. * ベルト通し(有り)	25	0
4. * ベルトレス		
ベルトがない	13	0
ベルト芯がない	7	2
ベルト芯がある	5	0
5. 種類		
* ひも	7	25
* 共布ベルト	2	16
* 飾りベルト	3	13
カマーバンド	0	7
* サッシュ	1	3
バックル	0	4
6. イメージ		
アクセント、ポイント	5	1
ウエストマーク	0	5
変わっている	2	0
その他	3	0
7. 位置		
ウエスト	0	8
ローウエスト	0	4
後	0	4
脇	0	4
その他	0	3
8. その他		
頻度数合計	173	149
ベルトに関することば数	173	130

表現自体の頻度数が比較的多いことに着目し、属性として扱った。③は「接ぎ」「ひも」「V字」など、単独のことばとして頻度数が多く、また他の属性に含めることも可能な属性への対処である。DETAILはデザインの特徴を最も詳細に検索できる項目であるからキーワードをむやみに集約したり切り捨てたりするべきではない。しかし、分類が詳細であるほどキーワード数が増え、検索効率の支障となるばかりでなくデータ入力の際のデザイン判定も厳しくなる。キーワードの意味内容を一致させる対応表のようなものが必要である。

DETAILで出現頻度数が多かったボタン、ベルト、ポケットとSKIRT3のDETAILが施される位置として頻度数が多かったウエストの属性別頻度数を表4、表5、表6、表7に示した。表中の\*印はSKIRT3のキーワードと一致したものを示す。またSKIRT3のDETAILに関するキーワード一覧を表8に示した。

ボタンに関してはSKIRT3のキーワードではほとん

表6 ポケットに関することばの属性別頻度数

		〈調査〉	〈雑誌〉
1. 位置	* 両脇、脇、横	40	10
	* 後、ヒップ	19	2
	* 前	16	1
	胸	0	3
	その他	3	1
2. ポケット (有り)		39	0
3. 数量	ひとつ、ふたつ	32	0
	たくさん	0	2
	その他	0	2
4. 種類	* バッチポケット	1	24
	* 箱ポケット	0	4
	* フラップポケット	0	3
	その他	0	10
5. 大きさ	大きな	14	22
6. デイテール	ファスナー付き	4	5
	ボタン付き	0	5
	マチ付き	0	4
	ステッチ	2	2
	リボン付き	0	3
	その他	8	23
7. イメージ	アクセント、強調	6	2
	その他	3	0
8. 形		4	4
9. その他		0	2
頻度数合計		191	134
ポケットに関することば数		190	106

表7 ウエストに関することばの属性別頻度数

		〈調査〉	〈雑誌〉
1. 高さ	* ハイウエスト	80	43
	* ローウエスト	7	12
	ヒップボーン	3	5
	その他	3	4
2. ゴム処理		89	38
3. デイテール	ギャザー	20	11
	切り替え	11	4
	タック	8	14
	リボン	6	5
	ダーツ	5	0
	刺繍	5	1
	フリル	3	0
	ひも	0	12
	ベルト	0	13
	その他	17	44
4. シルエット		32	28
5. * ベルト部分が太い		19	2
6. イメージ		7	0
7. その他		5	2
頻度数合計		322	238
ウエストに関することば数		322	238

ど対応出来るが「ボタン止め (留め)」は「あき」に含まれるか「ウエスト」でファスナーの上部分を留めるものか曖昧であった。この他キーワードを加えるべき属性は「数量」であった。

ベルトの「ベルト有り」は明らかにスカートの上にしめるBENDを意味するが「ベルトがない」にはスカートの上にしめるものとベルト芯のふたつを意味する場合がある。しかし学生調査であえて「ベルトがない」と回答したのは後者を意味するものと解釈した。このようなベルトレスはハイウエストかヒップボーンで履くスカートを指しているものと考え、これは後述のWAISTに含めた。ベルトでは太いベルトを示すキーワードを必要とした。

ポケットのキーワードは雑誌の頻度数をもとに作成したポケットの種類名のみであったが、調査では種類よりも「ポケットが有る」ことを示すキーワードが必要であった。しかし数量は特別なデザインを除いてふたつ以下であることが通常なので「ポケットが有る」の意味に含めるものとした。

ウエストに関する属性は「ハイウエスト」か「ゴム処理」で過半数を占めた。デイテールはDETAILの項目で、またシルエット、イメージも各々の項目で代替できた。「ベルト部分が太い」ではベルト芯を示し、HIGH BELTのキーワードで表すことができた。

### 3. 2. 2 LENGTH

SKIRT 3のLENGTHのキーワードは、Mサイズスカートの前丈で56cm未満をMINI、56cm以上66cm未満をNORMAL、66cm以上をLONGと既定した。これはスカート丈を表すことばは具体的表現、抽象的表現、丈の名称の3つに分けられ、辞書を資料としたことばの分類では丈の名称が最も多かったことによる<sup>3)</sup>。本調査でも同じ方法で分類した結果 (表9 スカート丈に関することばの集計)、脚の部分名称で長さを具体的に表現したものが全ことば数の半分近くあった。LENGTHの頻度数が雑誌に少なかった理由には、雑誌ではデザイン画や写真でスカート丈を表せるので敢えてコメントする必要がないことが考えられるが、本調査の学生がスカートの特徴として丈に着目しやすいことと、スカート丈を具体的に表現で表す必要があることが判った。表9の各長さの

表8 SKIRT3のディテールに関するキーワード

<WAIST>	<BUTTON>	<DETAIL>	
BELTLESS	BUTTONDOWN	ACCORDION-PLEAT	PANEL
DRAWSTRING	FLYFRONT	BOOT-NECK	PEPLUM
ELAS.&BELT	FROG	BOO-TIE	PLEAT
ELASTIC	HIP	BLAID	PLINCESS-SEAM
HIGHBELT	OPEN	BLOUSING	RAFFLE
HIGHWAIST	OPEN&POCKET	BOXPLEAT	ROUND-CUT
HIMO	PANEL	CHEAN	ROUND-NECK
HIPYOKE	PLEAT	CORDING	SALOPETTE
LOWWAIST	POCKET	D-KAN	SCALLOP
SHIRRING	POINT	DART	SEAMLINE
WAISTYOKE	SALOPETTE	DOUBLEBREST	SHAWL-COLLAR
YOKE&BELT	SHOULDER	DOUBLEPLEAT	SHIRRING
	SLIT	DOUBLESTITCH	SQUARE-NECK
	STRAP	DRAWSTRING	SMOKING
<BELT>	SUSPENDER	DREAP	STITCH
BELT	TAB	EMBROIDERY	STRAP
BELT&LOOP	WAIST	FASTENER	SUPPLICE-NECK
CORSELET	WRAP	FLARE	SUSPENDER
HIMO	YOKE	FLAREGATHER	TAB
HIMO&LOOP	YOKE&OPEN	FLATCOLLAR	TAILORD-COLLAR
KAZARI	(W)-Double	FLYFRONT	TANZAKU
LOOP		FRILL	TAPE
SASH	<POCKET>	FRINGE	TIERED
TAB	BIG	GATHER	TOGGLE
TAB&LOOP	CROSS	GUSSET	TRIMMING
TOMONUNO	FLAP	HALTER-NECK	TRYANGLE-EDGE
	KANGAROO	HANDKERCHIEF-NECK	TYROLEANTAPE
	PATCH	INVERTEDPLEAT	TUCK
	PIPING	KNITTEDFABRIC	V-CUT
	ROUND	LACE	V-NECK
	SEAM	LACE-UP	WRAP
	SLANT	RIBBON	YOKE
	SLASH	OPENFASTENER	ZIGZAGSTITCH
	SELT	OVERSKIRT	
		VERYOKE	

位置
F. (Front)
B. (Back)
S. (Side)
C. (CENTER)
F. S. (Front Side)
B. C. (Back CENTER)

ことばの頻度数はデザインシートに用いたスカートの丈に依存するので、頻度数からキーワードを決定することは出来ない。しかし現在の三段階の長さ分けを5~6段階に増やしキーワードを設定するべきと考えた。

3. 2. 3 IMAGE

これまでに雑誌から収集したイメージ語はその95%が単なる形容詞であった。本調査のイメージ語は、

①擬態語：状態をまねて表すことば

例) ふわふわ, ピラピラ, かちつとした

②比喻：類似したものにたとえたことば

例) バルーンのような, 傘のような

③その他の形容語

の3つに分けられた。その内訳は次の通りである。

	<調査>	<雑誌>
①擬態語	85	11
②比喻	68	24
③その他の形容語	250	618

合計 403 618 (語)

衣服や服装をイメージ語で表す研究は70年代から数多く行われており、そこで用いられるイメージ語は殆どが形容語であるが、対象を学生とするデータベースでは擬

表9 スカートの丈に関することばの集計

A. 具体的表現	B. 抽象的表現	C. スカートの名称
膝よりだいぶ上	1 かなり、だいぶ短い	8 マイクロミニ 1
膝上10~15cm	12	
膝上、膝より短い	41 短い	9 ミニ 30
膝より少し短い	11 少し短い、短め	5 ショート 4
膝丈、膝まで、膝位	88 長くもなく短くもなく2	
膝がかくれるくらい	22 普通の丈	1
膝より少し下	23	
膝下、膝より下	48	
膝下より少し長い	2	
膝より長い	10	
膝下5~15cm位	22	
ふくらはぎ	4 下から30cm位の高さ	1
ふくらはぎの下	1 少し長め	28
膝よりも10~20cm長い	9 長そう	2
くるぶしと膝の間	1 長め	50 セミロング 3
くるぶしと足首の間	1 長い	35 胴とロング 1
むこうすねの中央くらい	1 八分丈	1 ロング 121
すね位、おひざ脇	5 結構ある	2
くるぶし位	1 結構長い、長め	1
くるぶしよりも少し長い	1	
足首まで	5 とても長い	6
足元まで	1 長すぎる	
		ずいぶんロング 1
	(長さがわからないもの)	
	中途半端の長さ	9
	膝と床の間の長さ	4
	観上位	1
	その他	17
小計	310	182 161
合計		653



表10 イメージ語の出現頻度数

〈雑 誌〉	頻度数	〈調 査〉	頻度数
キュートな	9 4	かわいい	4 9
シンプルな	5 0	○ ふわっとした	2 4
女らしい	4 1	普通の	2 3
クラシックな	3 2	大人っぽい	2 1
優しい	2 5	女性らしい	1 4
清楚な	2 4	△ エプロンのような	1 4
カジュアルな	2 2	○ ひらひらした	1 2
エレガントな	2 2	○ すとんとした	1 1
スポーティーな	2 2	○ カジュアルな	1 0
大人っぽい	1 9	おしゃれな	9
ロマンチックな	1 6	△ 制服のような	8
シックな	1 6	活動的な	7
アダルトな	1 5	おばさんくさい	7
プレーンな	1 5	スポーティーな	7
かわいい	1 5	面白い	7
若わかしい	1 5	お嬢様っぽい	6
小粋な	1 4	かっこいい	5
ユニークな	1 4	若々しい	4
フェミニンな	1 3	○ ビラビラしている	4
軽やかな	1 0	○ フリフリの	4
		○ ふんわりした	4
		○ かちっとした	4
以下頻度数9以下	1 5 9	以下頻度数3以下	1 4 9
合計	1 1 1種類 6 5 3	1 1 2種類	4 0 3

○ 擬態語  
△ 比 喩  
印なしはその他の形容語

態語や比喩を含むことも考えられた。表10の頻度数では双方に共通のイメージ語が見られ、いくつかのイメージ語に限定することは可能であるが、データベースのイメージ語の対応は今後の課題とした。

### 3. 2. 4 SILHOUETTE

調査のシルエットに関することばは「～型」(例: タイト, Aライン, 筒型)で表したものと、文章で「普通のタイトほど裾が狭くなく」のように表したものに大別

され、261語のうち前者が81語、後者が180語句あった。シルエット名は筆者がこれまで収集したどの母集団も頻度数が低く、文章で表したものが多かった<sup>4)</sup>これらの文章をいくつかに集約することは可能だが、これは単にデータ長を長くし、データ容量を増やすだけである。そこで、これらの文章から想定できるシルエット10種類を描き出しその図を参照してコード番号が記号で検索することにした<sup>5)</sup>。この方法で調査結果の180語句中167語句が10種類のシルエットのいずれかに該当した。

## 4. 結 論

1. 衣服設計用データベースのキーワードがユーザーに適切であるか否かを検討するため、既存のキーワードとユーザーが衣服デザインを表現したことばとの比較検討を行った。
2. データ項目に改良すべき点はなかったが、スカート名は大分類に、スカート丈はより具体的に長さを表すキーワードが必要であることが判った。
3. 今後の課題はデータベースにおけるイメージ語の対応と検索状況の評価である。

## 謝 辞

本研究に御協力下さった本学の学生に感謝します。

## 文 献

- 1) 2) 3) 田中早苗, 家政誌投稿中
- 4) 5) 田中早苗, 東京家政大学平成2年度修士論文